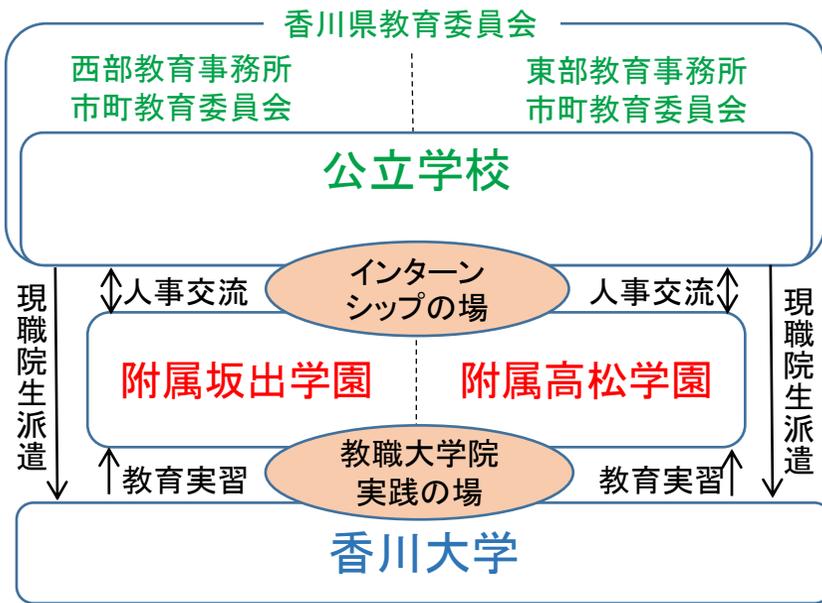


# V-③香川の教育力を高める附属学校

## (1)リーダー教員育成, 教員養成, 教員研修の役割



<義務教育課長, 市町教育長, 事務所長の声>

- ・地域のリーダー教員を多く育てるために, 西部地区, 東部地区にそれぞれ附属が必要。
- ・H33年度以降も, 香川県は多くの新規教員を採用する。教育実習並びに教員研修学校の役割をしっかりと果たすためには2つ必要。
- ・2つの附属が地域のモデルとなる授業を見せてほしい。

<校長会長>

- ・附属で5週間実習した学生が公立校で2週間実習し, その後も継続して自主的に週に1回来てくれている。附属を核としてこのような学生を増やしてほしい(インターンシップ事例)。

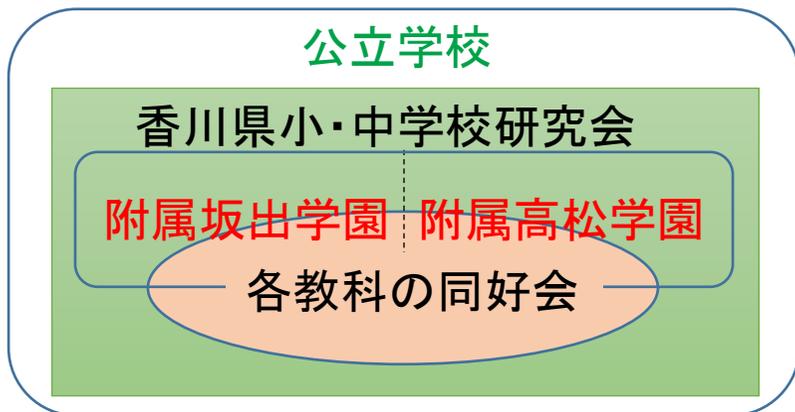
<現職院生派遣校校長>

- ・教職大学院や附属で学んだことが本校で活かされている。



「教職大学院生の実践授業研修」

## (2)地域の教育研究団体推進の役割



<香川県小・中学校研究会長の声>

- ・2つの附属が香川県小中学校研究会のみならず, 自主的に同好会の事務局と研究部を分担して推進してくれているから発展してきた。
- ・新しい教科の外国語, 道徳, 生活総合なども附属が中心となって進めてほしいが, 附属教員の数が足りないのが残念。

<教育事務所長>

- ・この研究会が基盤となり, 各教科の同好会が生まれた。授業について深く考える場を大切にしてほしい。両附属の一層の切磋琢磨を期待する。

<研究発表校校長>

- ・継続した指導から会の運営にわたり, 附属の先生方にお世話になった。

<附属教員OB>

- ・附属の研究だけでなく, この会や公立学校の現教指導の場が力量を高めてくれた。